

# 令和6年度第4回とみやわくわくミーティング

## 実施報告書



1月28日(火)「若者にとっての選挙について～若者の選挙への関心を高めるには～」をテーマに令和6年度第4回とみやわくわくミーティングを開催しました。宮城大学事業構想学群准教授 佐々木秀之氏に座長をお務めいただき、富谷高校を会場に2学年14名が参加しました。

本事業の前には富谷高校生2学年を対象に、富谷市選挙管理委員会主催の選挙出前講座が開催されました。出前講座では模擬投票等が行われました。

市長の開会あいさつ後、富谷市選挙管理委員会より、富谷市の選挙の現状、富谷

市役所のみで開設していた期日前投票所に加え「イオンモール富谷」へ投票所を設置したことや、ホームページやLINE、InstagramやFacebookなどのSNSを活用した選挙の周知を行っていること、選挙出前講座を実施していることなど、若い世代に選挙への関心を持ってもらうための本市における投票率向上に向けた取り組みについて説明を行いました。

その後、生徒より出前講座の感想を発表していただきました。



「想像していたよりも簡単ですぐに終わった。堅苦しいものだと思っていたが意外とカジュアルに感じた」、「投票自体は簡単だったが、誰に投票するのか悩んだ」、「小さい頃、親と一緒に投票所に行ったこともあり、すんなり投票できた」などの声が聞かれました。

続いて、若者の投票率を上げるためのアイデアについては「投票に行くことが面倒な人やそもそもどんな人が立候補しているのか分からない人が多いため、立候補者についての動

画を流してはどうか」、「子ども連れにお菓子、若者には化粧品やステッカーなど世代に合わせたクーポンや商品を用意し、選挙に来た人へ配布してはどうか」といったものが出ました。また、「選挙に行かなければ若者の意見を政治に反映できないなど、選挙に行かないデメリットを広める必要がある」などの意見も出されました。座長は、「重要なキーワードがたくさん出された。今回の意見を参考にし、若者投票率トップのまちを目指してほしい」と述べられました。

